

研究開発と人材育成

研究開発精進産学合作計画

入居企業の技術革新に向けた研究開発を奨励するとともに学術研究機関との交流促進によって研究開発能力を蓄積し、国内の人材育成を図るため、2010年5月から「科学工業園区研究精進産学合作計画」が推進されています。

本計画に基づいて受理された案件は2010年から2012年の間に計89件。うち37件が2012年に受理されたもので、過去最多を記録しました。3年間に審査を経て認可された案件は55件、実際の契約件数は51件で、合計1億7500万元が補助されました。2012年まで計画に参加した企業技術者529名、学術研究機関で修士または博士号を取得した者179名、国内外で発表された論文・著作254本、特許申請63件、特許取得12件、技術移転4件、計画による生産波及効果は16億3500万元余りに達するなど、目覚ましい成果を上げています。

■「專業及び技術人材育成計画」による講義と実習
(2012.04.12～11.06)

專業及び技術人材育成計画

入居企業の質的成長と園内就業者の学識・技能向上のため、南科では専門課程や講座を開いて業界トップクラスの講師を招き、研究開発の最新トレンドやマネジメントの心得などを語ってもらうことでイノベーションを生み出す契機にしてもらおうとしています。こうした講座が一年間にのべ59クラス開講されたほか、4回の先端技術講座も合わせると、研修時間は536時間、受講者数はのべ1925人になりました。



■ 2012年度「專業及び技術人材育成計画」開幕式 (2012.04.12)

人材育成補助計画

大学教育と産業界の橋渡しとして三大科学工業園区の管理局が共同で実施している人材育成補助計画は、高等教育機関の関係学部で学ぶ卒業見込み者の専門知識や技能の底上げを図るとともに、産学協同や産業界からの講師派遣を通じて現場が必要とする人材の育成に役立てることを目的としています。2011 学年度計画（～2012 年 8 月）では南部 9 校の 15 のモジュール課程に対する補助を行い、のべ 1989 人の学生が受講しました。2012 学年度計画（2012 年 7 月～）では 10 校 13 コースに対して 900 万元が助成されています。

医療機材商品設計人材育成計画 イノベーションの経験を次世代へ

8 月 31 日に「台湾-史丹福医療器材産品設計之人才培訓計画（STB：スタンフォード・台湾バイオメディカルフェローシッププログラム）」計画参加者による体験報告座談会が開催されました。これは台湾における医療機材産業の発展と連帯を促そうというもので、STB 計画によってアメ



■ STB 計画を通じて我が国における医療機材産業の成長を促進（2012.08.31）

リカに派遣され帰国した 6 名の代表がスタンフォード大学で一年間学んだバイオデザインの成果を国内の研究者や学生、医療機材メーカーに披露しました。



■ 2011 学年度科学工業園区人材育成補助計画の成果発表会（2012.10.24）

